

編集後記

当所では、日本で初めての経験となった東日本大震災と原発事故における支援の状況を後世に残したいと震災発生当時から考えておりました。

しかし、震災発生時の大混乱が徐々に収まり、時間の経過とともに通常業務に戻っていく中で、震災モードは薄れ、当時の状況は記憶の闇に沈んでいきました。忘れたいという気持ちもあったのだと思います。それだけ、大きな災害でした。

平成24年度に入り、東日本大震災支援活動報告書作成委員会を立ち上げ、作成に着手する準備を整えたのですが、遅々として進まない状況に陥ってしまいました。

また、職員の異動により、震災当時の状況がわからなくなるといったことも出てきて、作成の遅れに拍車をかけました。

震災に関する資料は、想像以上に膨大で、まとめ方についても迷いが生じ、方針の決定まで時間を要しました。また、たくさんの資料を目の前にしては、当時の避難者の方々や混乱したさまざまな状況がよみがえり、気持ちの整理にも時間がかかりました。

完成までに、時間がかかりましたこととお詫び申し上げます。

この報告書は、平成23年3月11日から平成24年3月31日までの会津保健福祉事務所での支援状況をコンパクトにまとめたものです。また、報告書のサブタイトル「全国からの支援に感謝を込めて」にあるように、県内外から御支援、御協力をいただいた多くの皆様への感謝の気持ちを込めています。派遣職員の皆様に支援の最終日に書いていただいたメッセージは、災害から2年経過した現在も所内に掲示させていただき毎日の業務の励みとなっています。

被災者への支援は、現在も続いており、すべての活動状況を報告書に盛り込むことはできませんでしたので、ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

今まで、御支援いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

最後に、この報告書をまとめるにあたり、御執筆をいただいた関係各位、並びに貴重な資料や写真などを提供いただきました関係団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

東日本大震災支援活動報告書作成委員会

〔総務企画部〕	澤井 範夫	津田 幸康	渡部 智子	宮嶋 一樹	我妻 沙織
〔健康福祉部〕	鈴木 淳	小林 則正	渡部 和成	遠山 保明	平野 美穂
〔生活衛生部〕	新妻 亮直	石川 香奈	谷津 明彦	鈴木 和則	高橋 充